文部科学省科学研究費助成事業 学術変革領域研究(A)
「神経回路センサスに基づく適応機能の構築と遷移
バイオメカニズム」(略称: 適応回路センサス)
(令和3年～令和7年度)

適応回路国際シンポジウム 2023

日時:2023 年 2 月 21 日(火), 22 日(水),
開催地: 理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール
(〒351-0198 和光市広沢 2-1 生物科学研究棟 1 階)
https://ithems.riken.jp/ja/access/suzuki-umetaro-hall

適応回路センサス事務局 (東京医科歯科大学内)
URL: https://ac-census.org/
TEL: 03-5803-5156 FAX: 03-5803-0118 硤合(Soai)・平(Hira)
E-mail: acc-jimu.phy2@tmd.ac.jp **当日連絡先:080-1907-4698(ACC 事務局 公用携帯)**

国際シンポジウムプログラム （言語：英語）

Day1 Feb 21 (Tue)

12:00~ <posting posters>

13:30~13:40 Welcome from **Dr. Isomura**

13:40~15:00 **Nenad Sestan（Yale University School of Medicine. USA）**

(Plenary talk)

(Chair: Tomomi Shimogori, RIKEN CBS)

"What makes us human? Development and evolution of prefrontal circuits underlying Cognitive Control"

15:00~15:15 <break>

(Session Chair: Ai Nakashima, Tokyo Univ.)

15:15~15:45 **Yasuhiro Go（ExCELLS, NINS）**

"Single-cell brain transcriptome analysis in autism model primates"

15:45~16:15 **Hiromu Tanimoto （Grad Sch Life Sci, Tohoku Univ）**

"Translational regulation enhances cell-type distinctions in the nervous system"

16:15~16:45 **Takeo Horie （FBS, Osaka Univ）**

"Regulatory cocktail for dopaminergic neurons in ascidian identified by single cell transcriptomics"

16:45~17:00 <break>

(Session Chair: Hideaki Shimazaki, Kyoto Univ.)

17:00~17:30 **Hideaki Takeuchi （Graduate School of Life Sciences, Tohoku University）**

"Exploring the neural geography of the fish social brain"

17:30~18:00 **Takayasu Mikuni （Brain Res Inst, Niigata Univ）**

"Large-scale imaging of synaptic activity and molecular dynamics in single neurons"

18:00~18:30 **Tomomi Shimogori （RIKEN CBS）**

"Thalamocortical control of cell type specificity drives a circuit for processing whisker-related information in mouse barrel cortex"

19:00 Academic exchange

Day2 Feb 22 (Wed)

(Session Chair: Fumino Fujiyama, Hokkaido Univ.)

9:00~9:10 Welcome from **Dr. Fujiyama（Grad Med, Hokkaido Univ)**

9:10~9:40 **Yimin Zou （UCSD. USA)**

"Assembly and maintenance of glutamatergic synapses"

9:40~10:10 **James Bourne （NIH. USA)**

"Role of pulvinocortical circuits in development"

10:10~10:40 **Jens Hjerling-Leffler（Karolinska. Sweden)**

"Transcriptional maintenance of cortical somatostatin interneuron subtype identity during migration"

10:40~11:00 <break>

(Session Chair: Kazuto Kobayashi, Fukushima Med Univ.)

11:00~11:30 **Takuya Sasaki （Tohoku University)**

"Combination of transcriptomic and electrophysiological analysis reveals hippocampal memory-related stress responses"

11:30~12:00 **Yoshikazu Isomura （Tokyo Med Dent Univ)**

"Adaptive circuit dynamics for operant learning of optimal behavior"

12:00~13:30 <lunch> Bring your own or lunch box (reservation required)

2nd floor or 3rd floor (eating and drinking is prohibited in Umetaro Hall)

13:30~15:30 Poster session (onsite only; at least 1 poster from 1 team)

15:30~ Closing remarks by **Dr. Isomura**

ご 案 内

開催方式（ハイブリッド:登録制）です。登録方法について

お申し込みフォームにて事前登録制となっております。

https://forms.gle/1pd4NVw25mfBJwe76

受付・会場入構について

受付:2 月 21 日（火）12 時～　受付場所:　理化学研究所　梅太郎記念ホール

※西門守衛所にて入構手続きをして「梅太郎記念ホール」へお越しください。

理化学研究所入構の際に一時入構許可証が必要になります（建物への入退館時に必要になりますので、各自常時携帯をお願いします）。

許可証発行は西門守衛所のみで行いますので ACC 国際シンポジウムに参加の旨と所属・お名前をお申し出ください。西門守衛所での入構手続き後、梅太郎記念ホールにてシンポジウムの受付をいたします。

＊ 「一時入構許可証」は当日のみ有効ですので、退所の際、必ず守衛所に返却してください。

2 日目も 1 日目同様に来所時、西門守衛所にて受付、一時入館許可証の交付を受けてください。

＊　名札はシンポジウム 2 日目に守衛に提示し、一時入構許可証の交付を受けてください。

Wi-Fi アクセス　：「RIKEN Guest」より登録申請をお願い致します。Email address　登録後、確認メールが送られてきますので、承認後アクセスしてください。

Zoom 配信　Zoom Distribution

https://riken-jp.zoom.us/j/95952283537?pwd=VnpOZHJqNFVaM2FjcVgrZEdTN1JWQT09

ミーティング ID: 959 5228 3537　パスコード: 23D39RfsRy

名札　：　参加中は学術交流のために名札をご着用ください

参加費等　：　無料

参加者（オンライン参加含む・予定）Participant

計画班 Keikaku-han　　8 班（37 名）　　公募班 Kobo-han　　19 班（33 名）

事務局スタッフ他

招待　8 名

Overseas speakers　：　Nenad Sestan (Yale Univ),

Yimin Zou (UCSD), James Bourne (NIH), Jens Hjerling-Leffler (Karolinska)

学術調査官　篠田陽先生（東京薬科大学）

評価委員　：　渡辺雅彦先生（北海道大学）、狩野方伸先生（東京大学）、佐藤矩行先生（沖縄科学技術大学院大学）

ポスター発表者へのご案内

オンサイトのみとなりますので、計画班、公募班ともに各班1名以上の現地でのご参加をお願いできましたら幸いです。

ポスター会場: 生物科学研究棟 2 階

・ポスターは初日(21 日 13:00～13:30)または2日目(22 日13:30 前)に貼ってください。

関係者以外も通る場所になりますのでセキュリティー上不安がある方は 2 日目にお貼り下さい。また 1 日目終了後に事務局でポスターをお預かりすることもできます。ご希望の場合はお声がけください。

・ポスターは 22 日 16 時終了時にはがしてお持ち帰りください

・ポスター発表者用の番号、名前、所属、タイトル一覧は別ページに記載します

ポスター作成要領

下記のポスターパネル仕様図に従い、指定のサイズ内でポスターを作成してください。

ポスターパネル使用可能部分 : 縦:160cm×横:115cm

演題名、所属、著者名は、英語・日本語併記でポスターの上部に記載してください。

発表内容(図・説明)は、すべて英語で作成してください。

ポスターは貼付時間内にご自身で貼り付けてください。

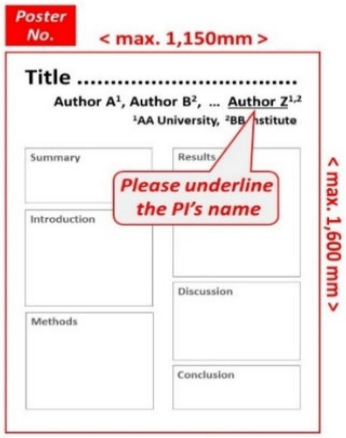
演題番号は予めパネルに用意してあります。また、掲示終了後は撤去時間内(22 日 16 時)にご自身で取り外してください。

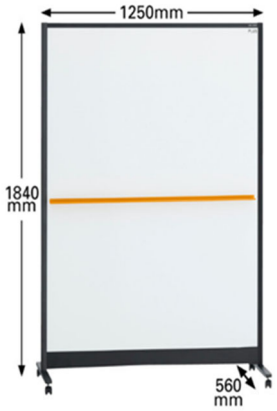
ポスターを貼り付けるためのマグネットは、各パネルに設置されています。糊・セロハンテープは使用できません。

発表・討論時間中はなるべくご自身のポスターの前で聴講者の質疑に応じてください。

撤去時間を過ぎてもポスターが残されていた場合、事務局にて撤去・処分します。返却はいたしません。

ポスターの紛失・盗難に関しては、主催者・事務局では責任を負えませんのでご了承ください。





2 日目の昼食について ： 両日ともに理研和光地区の食堂が休業のため 22 日（水）の昼食に弁当を販売いたします。（予約制・2/10 締切済み）弁当代は一律 550 円になります。
＊ご自身で昼食を持参していただいても構いません。

お弁当のお申込みをされた方は、2/21 梅太郎記念ホール受付にて現金 550 円をお支払いください。食券をお渡ししますので、22 日お昼にお弁当と交換をお願いします。
なお、休業期間中は売店（広沢クラブ店）、タリーズコーヒー（脳中央棟1階）にて弁当、軽食等の当日販売もありますが、品数が少なくなることが予想されます。こちらは現金と交通系 IC カードが使用できます。
ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。
ごみの分別のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

適応回路センサス事務局 Adaptive Circuit Census Office
URL：https://ac-census.org/
TEL 03-5803-5156 硤合（Soai）、平（Hira） FAX 03-5803-0118
E-mail：acc-jimu.phy2@tmd.ac.jp
当日携帯：080-1907-4698
Official cell phone only on the day of the event: 080-1907-4698

ポスター発表タイトル Poster Presentation Title ※未掲載

新型コロナウイルス感染症対策について

基本方針

本会議はすべての皆様に安心してご参加いただくことを目指しています。現地会場（埼玉県）へご来場の皆様には、**理化学研究所および東京医科歯科大学の指針に沿い、**COVID-19 感染防止対策にご協力をいただけますようお願いいたします。

参加者へのお願い

＜ ワクチン接種・検査にご協力ください ＞

参加者の方には3回以上のワクチン接種を推奨いたします。ワクチン未接種の方は 72 時間以内の PCR 検査結果の提示にご協力ください（任意）。

受付時および参加中の検温、抗原検査キットによる検査にご協力をお願いいたします(任意)。

＜ 体調がすぐれない場合はご来場をお控えください ＞

当日体調がすぐれない場合は参加をお控えいただき、参加キャンセルのご連絡をお願いいたします。

会議会場での対策

・感染防止のため、会場内では必ずマスクのご着用をお願いします。マスクを適切に着用していない方にはご退場いただく場合があります。ご了承ください。

・抗原検査キットを受付にてご用意しております。必要な方は受付にお声がけください。

・会議室入口に消毒用アルコールを設置します。入退場の際などこまめにお使いください。

・会場内ではソーシャルディスタンスを保つため適切に間を空けてご着席ください。

・食事中は、なるべく会話はお控えくださいますようお願いいたします。

・検査の結果、陽性と疑われる方は、他者との接触をできる限り避け、速やかに医療機関を受診していただきますようお願いいたします。

コロナウイルス抗原検査キットの使い方（所要 30 分程度）How to use the coronavirus antigen test kit (takes about 30 minutes)

SARSコロナウイルス抗原キット

エスプライン® SARS-CoV-2 操作法

H.U.GROUP　FUJIREBIO

〔問い合せ先〕お客様コールセンター
0120-292-026
くわしくは添付文書をご参照ください。

吹き出し は操作時の「注意点・ポイント」です。

反応カセット 外観

1 検体を採取します（鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液）

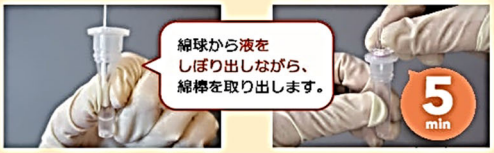
2 綿棒をチューブに浸して検体を抽出します。

綿球を挟みもみながら、綿棒を10回程度回転させます。ウイルス抗原を十分抽出します。

スクイズチューブ内で綿球部の揉み解しが不十分な場合、展開不良の原因になることがありますので、十分な抽出操作を行って頂きますようお願いいたします。

3 綿棒を取り出し、滴下チップをはめ込み5分静置します。

チューブ立て等をご用意ください。



綿球から液をしぼり出しながら、綿棒を取り出します。

4 1cm 以上、上から２滴、滴下します。

1cm以上、上から滴下。
滴下部に近づけすぎると十分に液滴が作れず、適正な量にならない場合があります。

滴下量は2滴
滴下量が多くても少なくても、結果に影響を与えることがあります。滴下部サークル外へはみ出し等にご注意ください。

5 凸部を押し込みます。

滴下後すみやかにオレンジ色のボタン（凸部）を押し込みます。
（凸部へこむ＝反応開始）

30分後 判　定

"r"に青いラインが現れていない場合には、新しい反応カセットを用いて再度検査してください。

判定例（裏面）もご覧ください。

SARSコロナウイルス抗原キット

エスプライン® SARS-CoV-2 判定例

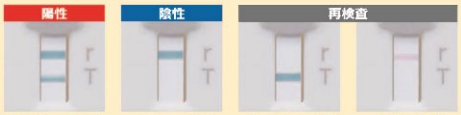
H.U.GROUP　FUJIREBIO

〔問い合せ先〕お客様コールセンター
0120-292-026
くわしくは添付文書をご参照ください。

レファレンスライン（rライン）が青く発色することで、反応が正常に行われたことを確認することができます。以下に示した写真は判定例です。

■判定例

r：レファレンスライン
T：判定ライン



重要な基本的注意
1. 本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV-2 感染を否定するものではありません。
2. 検査に用いる検体については、厚生労働省より公表されている「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針」を参照してください。
3. 診断は厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
4. 鼻腔ぬぐい液を検体とした場合、鼻咽頭ぬぐい液に比べ検出感度が低い傾向が認められているため、検体の採取に際して留意してください。
5. 検体採取及び取扱いについては、必要なバイオハザード対策を講じてください。

■こんなときは？

お問い合わせの多い再検査例です。原因としては以下のことが考えられますので、ポイントをご確認の上、必要に応じて再検査を実施ください。
スクイズチューブ内で綿球部の揉み解しが不十分な場合、展開不良の原因になることがありますので、十分な抽出操作を行って頂きますようお願いいたします。

パターン例	状況	想定される原因	操作ポイント
	縦スジが出現	試料液を検体滴下部に近い位置から滴下された場合 滴下位置と滴下チップの位置が近すぎると十分な液滴が作れず、必要量滴下されない場合があります。	滴下時、スクイズチューブは垂直に下へ向け、滴下位置から1cm以上離し滴下して下さい。
		試料液の粘性が高い・綿球部の揉み解しが不足した場合	スクイズチューブ内で綿球部をよく揉み解して下さい。
	rラインが出現しない	試料液の滴下量が多かった場合	滴下時には液量が多過ぎないようにご留意ください。
		オレンジ色のボタン（凸部）を押し忘れた場合	試料液滴下後はすみやかに反応カセットのオレンジ色のボタン（凸部）を押してください。
	陰性または陽性の判定がしづらい	試料液中の抗原量が少ない 試料液中の抗原量が少ない場合、判定ラインの発色が薄い場合があります。	判定がしづらい場合には再検査することをお勧めします。
		試料液の粘性が高かった場合　試料液の粘性が高い場合、滴下した試料液が検体滴下部に留まりパック発色となり判定ラインの様に浮き上がり、判定ラインが発色したようにも見えることがあります。	スクイズチューブ内で綿球部をよく揉み解して下さい。
	判定部全体が発色	試料液の粘性が高い・湿度の高い状況下での検査 試料液の粘性が高い、もしくは湿度の高い状況下の為、発色をしている可能性があります。	スクイズチューブ内で綿球部をよく揉み解すか、湿度の高い環境は避けてください。
	滴下チップが外れた	スクイズチューブ内圧の過度な上昇 高粘度の試料や異物が混入した状態で滴下を行った場合、スクイズチューブに過度な内圧がかかり滴下チップが外れ試料液が飛び散る場合があります。	滴下時に抵抗がある場合は無理に押さないようにしてください。

※「エスプライン」は富士レビオ株式会社の登録商標です。

操作法（裏面）もご覧ください。　ESL005 2020.10.6000

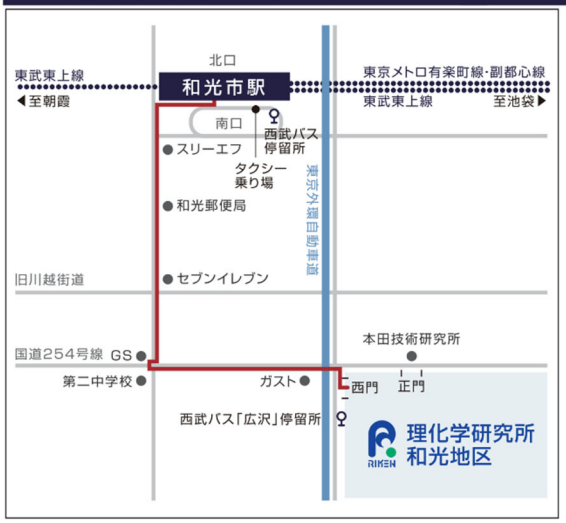
開催地:　理化学研究所　鈴木梅太郎記念ホールへのアクセス Access to RIKEN Umetaro Suzuki Memorial Hall

理化学研究所

和光地区へのアクセス

〒351-0198　埼玉県和光市広沢 2-1
Tel: 048-462-1111（代表）
Fax: 048-462-1554

和光市駅からのアクセス



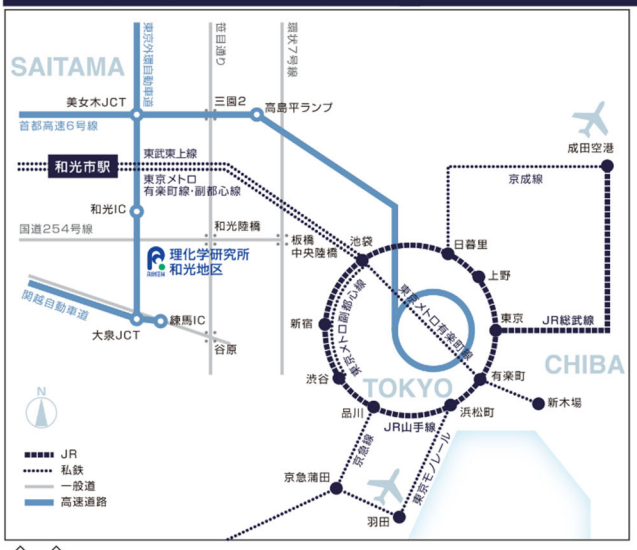
徒　歩	約 15 分
バ　ス	約 10 分（西武バス 39 番「大泉学園駅」ゆきに乗り、「広沢」で下車。）
タクシー	約 10 分

池袋駅からのアクセス

電　車（池袋駅～和光市駅）

池袋駅～和光市駅	
東武東上線	急行・準急電車（約 12 分）
東京メトロ有楽町線	普通電車（約 19 分）
東京メトロ副都心線	急行電車（約 14 分）

空港からのアクセス



空港バス
（成田空港・羽田空港～和光市駅）

成田空港～和光市駅	
運行バス路線	京成バス 「東所沢駅・所沢駅～成田空港」線 （約 120 分）
成田空港のりば	第 1 ターミナルビル到着階・7 番バスのりば 第 2 ターミナルビル到着階・11 番バスのりば
和光市駅のりば	和光市駅南口「ザバススポーツクラブ和光」前 （路線バスのりばとは異なります）

羽田空港～和光市駅	
運行バス路線	リムジンバス（東京空港交通） 「石神井公園駅・和光市駅～羽田空港」線 （約 55 分～約 95 分）
羽田空港のりば	第 1 ターミナル到着階 5 番・バスのりば 第 2 ターミナル到着階 5 番・バスのりば
和光市駅のりば	和光市駅南口「ザバススポーツクラブ和光」前 （路線バスのりばとは異なります）

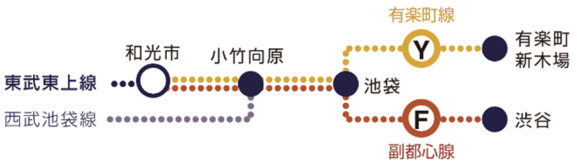
電　車（成田空港・羽田空港～和光市駅）

成田空港～和光市駅		
成田空港・第 2 ターミナルビル駅～ 日暮里駅	京成電車「スカイライナー」（約 40 分）	JR「成田エクスプレス」（約 90 分）
日暮里駅 ～池袋駅	JR 山手線（約 12 分）	
池袋駅 ～和光市駅	東武東上線 / 急行・準急電車（約 12 分）	

羽田空港～和光市駅	
羽田空港駅 ～ 品川駅	京浜急行（約 16 分）
品川駅 ～ 池袋駅	JR 山手線（約 26 分）
池袋駅 ～ 和光市駅	東武東上線 / 急行・準急電車（約 12 分）

直通運転のご案内

東京メトロをご利用の際は
「和光市･東武東上線方面」の電車をご利用ください。



理化学研究所

梅太郎記念ホール

理化学研究所 和光キャンパス

ＴＩＭＥ　ＴＡＢＬＥ

	2023年2月21日（火）		2023年2月22日（水）	
8:00				
8:30				
9:00			9:00−9:10	Welcome from Dr. Fujiyama
9:30			9:10−9:40	Yimin Zou (HFSP talk 30 min)
10:00			9:40−10:10	James Bourne (HFSP talk 30 min)
10:30			10:10−10:40	Jens Hjerling-Leffler (HFSP talk 30 min)
			10:40−11:00	<break>
11:00			11:00−11:30	Takuya Sasaki (30min)
11:30			11:30−12:00	Yoshikazu Isomura (30min)
12:00	12:00−	受付・ポスター貼り<posting posters>	12:00−13:30	<lunch>
12:30				
13:00				ポスター貼り<posting posters>
13:30	13:30−13:40	Welcome from Dr. Isomura	13:30−15:30	ポスター発表 Poster session (onsite only; at least 1 poster from 1 team)
14:00	13:40−15:00	Nenad Sestan (Plenary talk 80min)		
14:30				
15:00	15:00−15:15	<break>		
15:30	15:15 − 15:45	Yasuhiro Go (30 min)		
16:00	15:45−16:15	Hiromu Tanimoto (30 min)	15:30−16:00	Closing remarks by Dr. Isomura
16:30	16:15 − 16:45	Takeo Horie (30min)		
	16:45−17:00	<break>		
17:00	17:00−17:30	Hideaki Takeuchi (30min)		
17:30	17:30−18:00	Takayasu Mikuni (30min)		
18:00	18:00−18:30	Tomomi Shimogori (30min)		
18:30				
19:00	19:00 − 21:00	Academic Exchange(TBA)		
19:30				
21:00				